

単元名 「Unit5 This Is Our School」

第1学年 話すこと〔発表〕
書くこと

◆本実践の概要

目標を達成するために、学習者用デジタル教科書等を活用し、個々の生徒が必要な内容や表現を主体的に選択したり、お互いのビデオを見合ったりして、内容面、言語面において自らパフォーマンスを改善する。

1 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標

| 話すこと〔発表〕 | 書くこと |
|--|--|
| 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、自分で作成したメモなどを活用しながら、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容で話すことができる。 | 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文を7文程度で書くことができる。 |

2 単元の目標

甲州市の姉妹都市であるアメリカのアイオワ州・エイズ市の中学生に、自分の学校についてよく知らうために、お気に入りの学校の施設や教室についてまとまりのある内容で、話したり書いたりすることができる。

3 単元の評価規準

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------|--|---|--|
| 話すこと〔発表〕 | ・Where や When、命令文を用いた文の構造を理解している。 ・自分の中学校について、事実や自分の考え、気持ち等を整理し、Where や When、命令文などの簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 | 甲州市の姉妹都市であるアメリカのアイオワ州・エイズ市の中学生に、自分の学校についてよく知らうために、お気に入りの学校の施設や教室についてまとまりのある内容で、話している。 | 甲州市の姉妹都市であるアメリカのアイオワ州・エイズ市の中学生に、自分の学校についてよく知らうために、お気に入りの学校の施設や教室についてまとまりのある内容で、話そうとしている。 |
| 書くこと | ・Where や When、命令文を用いた文の構造を理解している。 ・自分の中学校について、事実や自分の考え、気持ち等を整理し、Where や When、命令文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。 | 甲州市の姉妹都市であるアメリカのアイオワ州・エイズ市の中学生に、自分の学校についてよく知らうために、お気に入りの学校の施設や教室についてまとまりのある内容で、書いている。 | 甲州市の姉妹都市であるアメリカのアイオワ州・エイズ市の中学生に、自分の学校についてよく知らうために、お気に入りの学校の施設や教室についてまとまりのある内容で、書こうとしている。 |

便宜上、以下のように示す。

ア:「話すこと(発表)」知識・技能 イ:「話すこと(発表)」思考・判断・表現 ウ:「話すこと(発表)」主体的に学習に取り組む態度
エ:「書くこと」知識・技能 オ:「書くこと」思考・判断・表現 カ:「書くこと」主体的に学習に取り組む態度

4 単元について

本単元では、甲州市の姉妹都市であるアメリカ・アイオワ州・エイズ市の中学生に、自分たちの学校を紹介するという課題に取り組む。コロナ禍で直接的な交流ができない状態が続いているため、1人1台端末のカメラアプリを活用し、エイズ市の中学生に、日本の学校の様子を伝えるという場面を設定する。普段自分

たちが生活している学校の様子が具体的に伝わるように、文化や学校生活の違いを踏まえながら、相手意識をもって学習に取り組むことで、日本の中学生の学校生活が伝わると想定している。本単元の指導にあたっては、帯活動として、毎時間の最初に学習者用デジタル教科書を使用し、Where is your favorite place in our school?という問いのもと、ペアでの会話を行う。この活動を通して、毎時間のストーリーから学ぶ内容や生徒たちが話したい表現を、実際のコミュニケーションの中で活用させ、単元終末のパフォーマンス課題につなげていきたいと考える。

5 単元の指導と評価の計画（全9時間）

| 時間 | 目標(◆) 主な言語活動(○) | 評価 | | | |
|---------|---|----|---|---|----------------------------------|
| | | 知 | 思 | 態 | ◎評価規準<評価方法> |
| 1 | ◆ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。 ◆単元のゴールを生徒と共有する。 ◆帯活動 What is your favorite place in our school? 【学習者用デジタル教科書使用】 ※毎時間実施 | | | | ★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。 |
| 2 | ◆本文の内容を捉え、文化や学校生活の違いを捉える。 ◆新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 | | | | |
| 3 本時 | ◆エイムズ市の中学生に、塩山中学校のおすすめの場所を詳しく知ってもらうために、ビデオメッセージを作る。 ○Listen 登場人物の会話を聞いて、校内の施設がある場所を聞き取る。【学習者用デジタル教科書使用】 ○Speak 自分の学校のお気に入りの場所についてのビデオレターを作る。【学習者用デジタル教科書使用】 | | | | |
| 4 | ◆本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 | | | | |
| 5 | ◆命令文を使ったアナウンスを聞いたり、命令文を使って話したり書いたりする。 | | | | |
| 6 | ◆本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項の意味・形・使い方を理解する。 | | | | |
| 7 | ◆疑問詞 when を使った会話を聞いたり、疑問詞 when を使って話したり書いたりする。 | | | | |
| 8 | ◆甲州市の姉妹都市であるアメリカのアイオワ州・エイムズ市の中学生に、自分の学校についてよく知ってもらうために、お気に入りの学校の施設や教室についてまとまりのある内容で、話す。 ◆単元終末の活動に取り組む。 | 話 | 話 | 話 | ◎評価規準 ア・イ・ウ <録画動画> |
| 9 | ◆前時の動画を見ながら、メッセージを書く。 ◆活動を振り返って自己評価をする。 | 書 | 書 | 書 | ◎評価規準 エ・オ・カ <ワークシート> |
| 後日 | パフォーマンステスト(※) | 話 | 話 | 話 | |

6 本時の授業（第3時）

(1) 本時の目標

エイムズ市の中学生に、塩山中学校のおすすめの場所（教室や施設）を知ってもらうために、ビデオメッセージを作ることができる。

(2) 本時の実際

| 時間 | 生徒の活動 | 指導者の活動 | 指導上の留意点 |
|--|--|--|---|
| 2分 | 【Greeting】 ・あいさつをする。 ・デザインシートに本日の曜日、日付、天気を記入する。 | ・あいさつをする。 ・曜日、日付、天気をつづりを確認する。 |  |
| 8分 | 【Warm-up:Small Talk】※帯活動 ・デジタル教科書の扉のページや塩山中教室配置図を見て、 Where is your favorite place in our school? について、ペアで伝え合う。 ・前回までの扉のページ上のメモを参考にしたり、必要なことをさらにメモしたりする。 ・1回目が終わったら、2回目に向けて修正を行う。 | ・単元の最初に塩山中学校の教室配置図を紙ベースで配付しておく。 ・机間指導により、言いあぐねている生徒へ支援を行う。 ・一度活動させたのち、数ペアにやり取りの発表をさせる。全体で指導を加え、その後もう一度活動させる。 | ≪中間指導の例≫ 内容面： Why do you like the place? What can you do there? →相手におすすめの理由を尋ねたり、答えたりする。 言語面： 言いたかったけれど、言えなかったことを共有する。 |
| 1分 | 【Today's goal】 ・本時の目標を確認する。 | | |
| Goal: エイムズ市の中学生に、塩山中学校のおすすめの場所(教室や施設)を詳しく知ってもらうために、メッセージを作ろう。 | | | |
| 13分 | 【Listen】 ・リスニングのトピックや聞き取るべき内容を確認する。  ・1回目は、全体で音声を聞く。 ・2回目は、1回目で分からなかったパートを中心に、個別で音声を聞く。必要があれば、さらに音声を聞いたり、スピードを落として聞いたりして聞く。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;">個別最適</div> | ・最初にモニターにデジタル教科書を映し出し、いくつか質問を投げかけ、リスニングポイントを押さえる。 ・How many rooms are there? ・What is "first floor"? ・Where is "nurse's room"? ・Choose from A-F. ・全体で1度、音声を再生する。 ・時間設定(3分)をして、記号を答えられなかった生徒はもう一度答えを見付ける。また、記号で答えられた生徒はモニターに映し出されたチャレンジ問題に取り組む。 |  <div style="background-color: yellow; border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 全体で聞き取れなかった部分を、学習者用デジタル教科書を活用し、個人で聞き取っている。 </div> ≪チャレンジ問題≫ ハジンはなぜ保健室に行きたいのですか? (google slide 使用) |

| | | | |
|-----|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・全体で答え合わせをする。 ・エイムズ市の中学生に塩山中を詳しく説明するために使えるような表現をメモする。 ※デジタル教科書を使って、これまで習った全ての表現の中から生徒が選択してメモする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語で各部屋の場所を説明させる。 ・on / next to / between などの意味と使い方を確認する。 |  <p>《メモ例》</p> <ul style="list-style-type: none"> -It's on the~floor. -next to~ -between A and B -near~ |
| 23分 | <p>【Making a movie】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を再確認し、塩山中学校のおすすめの場所について、ビデオメッセージを録画する。 ・最初に、どんなことを話せばいいか、全体で共有する。 ・その後、1回目の録画を行う。 <p>中間評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・classroom のリンクやインターネット上の情報を見て、ビデオメッセージを送る相手がどのような学校で学び、どのような学校生活を送っているか確認する。 <p>個別最適</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目の録画に取り組む。 ・ペアで録画した動画を見せ合う。 <p>協働的</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・3回目の録画に取り組む。 ・一番上手に録画できたものを、classroom で教師に提出する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体で、生徒の意見を取り上げながら、録画への動機付けを行う。 ・時間設定（2分）をして取り組ませる。 <p>中間指導をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・classroom に単元の最初に見た Ames Middle School や Ames 市、過去の甲州市の広報、アンケート結果などのリンクを貼り付けておく。 ・本時の目標である、自分のおすすめの場所について詳しく知ってもらうために、何を伝えたか、お互いに振り返らせる。 ・内容面と言語面の両方で一番よいものを提出させる。態度面の笑顔やジェスチャー等だけで判断させない。 |  <p>相手意識をもって、カメラアプリでビデオを撮影する。何度も撮り直し、動画を見返したり、友達のものを見たりして、内容面・言語面でブラッシュアップを図る。</p> <p>中間指導（例）</p> <p>内容面： 改めて相手を確認する。 1回目で何を伝えたかを確認、さらに伝えたいことはどのようなことかを共有する。 →動画をブラッシュアップさせるため、classroom にはたくさんの資料がある。 生徒が自分で選択する。</p> <p>言語面： 言いたいけれど言えなかったことの共有をする。</p> <p>次回、言いたかったけれど言えなかったことをどう言えばよいか、全体で生徒に課題解決させる。</p> |
| 3分 | <p>【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインシートに、本時の授業の振り返りを記入する。 <p>【Greeting】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の授業の内容を確認する。 ・あいさつする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・言いたかったが言えなかった表現などを記入させる。 ・次時では、塩山中の学校生活について書く。 |  |

7 実践を振り返って

本事例は、コロナ禍で直接的な交流を行うことができない姉妹都市の中学生に向けたビデオメッセージを、1人1台端末のカメラアプリを利用して作り上げるという目標を設定し行ったものである。

ペアで学校内のおすすめの場所を紹介し合う帯活動を通して、ビデオメッセージで話すことを、少しずつブラッシュアップしていくことで、生徒は不安なくビデオの録画に取り組んでいた。合計3回の録画を行い、生徒は自分のパフォーマンスをビデオで見直したり、他の生徒に見てもらいアドバイスをし合ったりしながら、内容面・言語面を洗練させていった。また、学習者用デジタル教科書を活用し、ビデオの内容面の充実のために、見えそうな表現や語彙に線を引いたり、ふせん機能でメモを作成したり、音声を繰り返し聞いたりしながら、生徒は主体的に活動を行った。

今後の課題としては、個別最適な学びや協働的な学びのための手立てを更に充実させることである。より十分な時間を確保し、生徒が議論しながら、学習者用デジタル教科書等を頼りに、ビデオ内で使用する表現を磨き合う時間が必要である。また、生徒はどうしてもより完璧なものを目指しがちで、ビデオを録画し始めるまでに時間がかかった。授業の中で何度も撮影させ、自己評価し、中間指導を繰り返し行うことで、生徒のパフォーマンスを目標により近づけられるように指導していきたい。